

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校体験活動推進事業	NO.	34
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1.学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生きる力を育む学校教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	自然体験活動を通して、感動する心や協調性、思いやり、自主性を培い、心豊かなたくましい児童生徒を育成します。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	児童生徒の感動する心や協調性、思いやり、自主性を育成するため、日常生活では味わうことのできない社会体験活動の場を提供する。
対象 (誰・何を対象として)	市内中学校2年生全生徒
手段 (どのようなやり方で)	各学校の計画のもと、自然体験活動を実施し、宿泊費、交通費、人件費等を教育振興費として助成する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	様々な体験活動を通して、自己と向き合い、他者に共感することや社会の一員であることを実感する中で思いやりの心や規範意識等を育むことができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	体験活動推進事業検討委員会による新たな実施方針の検討	新たな実施方針での体験活動の実施及び効果の検証	新たな実施方針での体験活動の実施及び効果の検証

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 「充実した体験ができた」と回答する生徒の割合	%	99.6 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 体験活動実施中学校数	校	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	11,317	11,515	12,677	12,037	36,229
一般財源	11,317	11,515	12,677	12,037	36,229
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校情報教育推進事業	NO.	35
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生きる力を育む学校教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	児童生徒の学習の基盤となる情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなど学校のICT環境整備を行い、教科横断的に学習活動の充実に取り組みます。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	学習指導要領における教育の情報化を推進し、児童生徒の情報活用能力の育成に必要な環境を整え、個に応じた教育を推進します。
対象 (誰・何を対象として)	市内小中学校児童・生徒及び教職員
手段 (どのようなやり方で)	電子黒板や大型提示装置、無線LAN環境、タブレット端末などICT環境を計画的に整備して効果的に活用します。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	教科書等に加えられたデジタル教材等を中心にICTを活用した先進的で双方向性の質の高い授業を展開し、児童生徒がICT機器を活用した学習に取り組み、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現することで、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	教育情報化推進計画に基づく情報機器の整備（小学校ソフトウェア等ICT周辺機器更新）	教育情報化推進計画に基づく情報機器の整備（小中学校図書館コンピュータ機器更新、校務用コンピュータ機器更新）	教育情報化推進計画に基づく情報機器の整備（校務支援システム更新）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 1人1台端末を週5回以上活用する学級の率	%	95.4 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	② 情報モラルの指導を実施した学級の割合	%	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	③						
活動指標	① デジタル教科書を活用している学級の率	%	44.3 (R6)	58	80	100	100 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	95,846	133,294	71,410	71,404	276,108
一般財源	95,846	133,294	71,410	71,404	276,108
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校読書教育推進事業	NO.	36
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生きる力を育む学校教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	児童生徒の読書意欲を高めるため、学校図書館に学校司書を配置します。 学校図書館の機能を高めて読書教育の推進を図ります。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	学校図書館に学校司書を配置し、児童生徒の読書意欲を高めるとともに、図書館用コンピュータ設置、図書物流システムを運用することにより、学校図書館の機能を高めて読書教育の推進を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内小中学校児童生徒及び教職員
手段 (どのようなやり方で)	学校司書の全校配置を継続するとともに、学校図書館・公共図書館のネットワークを強化し、図書物流システムの拡大を図る。加えて、学習情報センター機能を維持するための機器等の整備・充実を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	読書センター、学習情報センターの両機能を高めることで、豊かな心を持った児童生徒となり、また自ら課題を見つけて自ら考え、判断し、解決し、解決に向けて実践する探究型の学力の向上を図ることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	学校司書の配置による学校図書館の機能向上 図書物流システムの活用	学校司書の配置による学校図書館の機能向上 図書物流システムの活用	学校司書の配置による学校図書館の機能向上 図書物流システムの活用

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 児童一人あたりの学校図書館年間図書貸し出し冊数	冊	83.2 (R6)	75	75	75	75 (R10)
	② 生徒一人あたりの学校図書館年間図書貸し出し冊数	冊	14.6 (R6)	25	25	25	25 (R10)
	③						
活動指標	① 学校司書の配置小学校数	校	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	② 学校司書の配置中学校数	校	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	39,851	38,972	46,643	44,882	130,497
一般財源	39,851	38,972	46,643	44,882	130,497
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小学校スクールカウンセラー活用事業	NO.	37
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生きる力を育む学校教育の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	児童・保護者・教職員に対して、専門的な見地から相談・助言を行うため、市内全小学校にスクールカウンセラーを配置します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	学校生活における生徒指導及び教育相談の機能を充実させるため、児童、保護者、教職員に対して専門的見地から相談助言を行うことにより、いじめや虐待、特別な支援を必要とする児童等の早期発見及び不登校の予防改善を図る。
対象 (誰・何を対象として)	不登校やいじめ、虐待等に悩む児童、子育てに悩む保護者、問題行動や教育活動に悩む教員
手段 (どのようなやり方で)	臨床心理士資格を有するスクールカウンセラーを小学校に配置する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	児童、保護者、教員への相談・助言者として、いじめや虐待、特別な支援を必要とする児童等の早期発見及び不登校の予防改善を図り、児童一人ひとりが充実した学校生活を送ることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	スクールカウンセラーによる専門的見地からの相談・助言	スクールカウンセラーによる専門的見地からの相談・助言	スクールカウンセラーによる専門的見地からの相談・助言

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① カウンセリング回数	件	2,368 (R6)	1,715	1,715	1,715	1,715 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① スクールカウンセラーの配置小学校数	校	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	7,920	8,025	7,976	8,087	24,088
一般財源	7,920	8,025	7,976	8,087	24,088
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校特別支援教員活用事業	NO.	38
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 一人ひとりを大切にす教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	通常学級において、障がい及びその傾向のある児童生徒に対して、当該児童生徒の学力や社会性及び基本的な生活習慣の定着が図れるよう、特別支援教員を配置し、学習・生活上の指導・支援を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	通常学級において、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）、HFA（高機能自閉症）等さまざまな障がい及びその傾向のある児童生徒に対し、市独自に採用した講師を各小中学校に配置し、当該児童生徒の学習・生活上の指導・支援を行うことで、学力や社会性及び基本的な生活習慣の定着を図る。
対象 (誰・何を対象として)	通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒
手段 (どのようなやり方で)	教員免許状や支援経験を有する者を各小中学校に配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の特性に応じた支援や指導を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	LD、ADHD、HFA等の発達障がい等、さまざまな障がい及びその傾向のある児童生徒への個別指導により、学習効率を高め、当該児童生徒の持てる力の伸長及び、健やかな成長が期待できる。また、他の児童生徒の学習権を保障する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	特別支援教員による学習・生活上の指導・支援	特別支援教員による学習・生活上の指導・支援	特別支援教員による学習・生活上の指導・支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 特別支援教員の支援によって変化した児童の割合（小学校）	%	91.0 (R6)	90.0	90.0	90.0	90 (R10)
	② 特別支援教員の支援によって変化した生徒の割合（中学校）	%	84.2 (R6)	85.0	85.0	85.0	85 (R10)
	③						
活動指標	① 特別支援教員の配置 小学校	校	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	② 特別支援教員の配置 中学校	校	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	89,956	98,692	104,242	105,209	308,143
一般財源	89,956	98,692	104,242	105,209	308,143
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校基礎学力向上支援教員配置事業	NO.	39
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 一人ひとりを大切にす教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	学力の個人差解消を図るため、教員免許状を有する講師を配置して、個に応じたきめ細かな指導を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	少人数指導等を推進し、子どもの個に応じたきめ細かな指導を行う中で基礎学力の向上を図る。
対象 (誰・何を対象として)	小中学校児童生徒
手段 (どのようなやり方で)	教員免許状を持つ基礎学力向上支援教員を個に応じたきめ細かな指導を行うため市内各小中学校12校へ配置し、個人差の大きい計算など個々に対応した指導を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	国語や算数、数学を中心に基礎的な知識及び技能の習得につなげる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	基礎学力向上支援教員による個に応じたきめ細かな指導	基礎学力向上支援教員による個に応じたきめ細かな指導	基礎学力向上支援教員による個に応じたきめ細かな指導

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 計算テストの結果が向上した児童の割合	%	95.0 (R6)	90.0	90.0	90.0	90.0 (R10)
	② 計算テストの結果が向上した生徒の割合	%	72.4 (R6)	85.0	85.0	85.0	85.0 (R10)
	③						
活動指標	① 基礎学力向上支援教員の配置小学校数	校	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	② 基礎学力向上支援教員の配置中学校数	校	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	40,764	49,559	59,390	59,390	168,339
一般財源	40,764	49,559	59,390	59,390	168,339
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	外国語教育支援事業	NO.	40
担当所属	総合教育センター	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1.学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(2)一人ひとりを大切にす教育の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	外国語指導助手の派遣により、外国語（英語）によるコミュニケーションの機会を児童生徒に確保します。ALTコーディネーター派遣による適切な授業支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	小学校中学年までは、体験的な外国語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。高学年及び中学校では、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
対象 (誰・何を対象として)	小学校、中学校の児童・生徒及び教職員
手段 (どのようなやり方で)	外国語指導助手の派遣（全小中学校へ配置）とALTコーディネーター派遣による授業支援 指導資料の作成及び購入等の環境整備 外国語指導助手の研修等による指導力向上 教職員への研修 国・県の動向の情報収集および研究
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	外国語指導助手派遣によりコミュニケーションの機会を児童生徒・教職員に確保する。 ALTコーディネーター派遣による適切な授業支援を教職員が受けられる。 児童生徒が外国語の授業に意欲的に取り組むことができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	外国語指導助手の派遣 ALTコーディネーターによる授業支援 ALTの研修等による指導力向上 外国語教育推進会議の開催	外国語指導助手の派遣 ALTコーディネーターによる授業支援 ALTの研修等による指導力向上 外国語教育推進会議の開催	外国語指導助手の派遣 ALTコーディネーターによる授業支援 ALTの研修等による指導力向上 外国語教育推進会議の開催

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 市内小学校5・6年生外国語教育アンケート「ALTの先生と接することは楽しいですか」	%	76 (R6)	75.0	75.0	75.0	75.0 (R10)
	② 市内中学校2年生外国語教育アンケート「ALTの先生が授業に来ると意欲は高まるか」	%	77 (R6)	70.0	70.0	70.0	70.0 (R10)
	③						
活動指標	① 小学校中学年における外国語指導助手配置年間授業時数（1学級当たり）	時間	37.1 (R6)	35.0	35.0	35.0	35.0 (R10)
	② 小学校高学年における外国語指導助手配置年間授業時数（1学級当たり）	時間	70.9 (R6)	70.0	70.0	70.0	70.0 (R10)
	③ 中学校における外国語指導助手配置年間授業時数（1学級当たり）	時間	46.3 (R6)	35.0	35.0	35.0	35.0 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度合計
事業費	76,397	76,145	76,145	76,461	228,751
一般財源	76,397	76,145	76,145	76,461	228,751
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	教育相談事業	NO.	41
担当所属	総合教育センター	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 一人ひとりを大切にする教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	学校不適應や不登校に悩む児童・生徒、子育てに悩む保護者を対象に、相談活動を充実させ、助言や支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	学校不適應や不登校に悩む児童・生徒、子育てに悩む保護者を対象に、相談活動を充実させ、助言や支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	不登校傾向にある児童・生徒、子育てに悩む保護者、特別支援教育の充実を目指す教職員
手段 (どのようなやり方で)	電話相談・来所相談を受け付け、不登校傾向にある児童・生徒、保護者への助言・支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	不登校傾向の児童・生徒とつながり、学校復帰や社会的自立をサポートする。 保護者の子育てに対する不安を解消する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	電話相談、来所相談の実施 医療機関と連携した教育相談の実施	電話相談、来所相談の実施 医療機関と連携した教育相談の実施	電話相談、来所相談の実施 医療機関と連携した教育相談の実施

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	医療と連携した教育相談の事後アンケートにて、生活改善が見られた児童生徒の割合	%	100 (R6)	90.0	90.0	90.0	90 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	医療機関と連携した教育相談の実施回数	回	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	②	相談員を配置して各種相談を受ける日数	日	242 (R6)	240	240	240	240 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	3,932	7,407	7,407	7,407	22,221
一般財源	3,932	7,407	7,407	7,407	22,221
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	教育支援教室運営事業	NO.	42
担当所属	総合教育センター	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 一人ひとりを大切にす教育の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	人間関係等に悩み不登校となった児童・生徒が、社会の一員として自立していくための基礎を身に付ける場として、教育支援教室「のぞみ学級」を運営します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	子どもたちが社会の一員として個性を伸ばしながら、自立していくための基礎を義務教育で身に着ける。
対象 (誰・何を対象として)	人間関係等に悩み、不登校となった児童・生徒及びその保護者
手段 (どのようなやり方で)	小集団活動と個別相談指導により人間関係づくりのスキルアップを図り、心の安定と自己肯定感の獲得を図る。保護者の心の安定を図り、保護者の家庭での役割について支援する。 学校と家庭との連携が取れるよう支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	活用しているすべての児童・生徒が、小集団への適応できる力を高め、社会への参加を目指す活力を充填させる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	教育支援教室の運営 担任との面談、保護者面談 親の会の開催	教育支援教室の運営 担任との面談、保護者面談 親の会の開催	教育支援教室の運営 担任との面談、保護者面談 親の会の開催

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	教育支援教室開催日数	日	198 (R6)	198	198	198	198 (R10)
	②	体験活動の回数	回	5 (R6)	5	5	5	5 (R10)
	③							
活動指標	①	教育支援教室運営数	室	1 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	10,267	10,627	10,622	10,627	31,876
一般財源	10,267	10,627	10,622	10,627	31,876
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	子どもを育む、学校・家庭・地域連携事業	NO.	43
担当所属	学校教育課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1.学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 地域や家庭に開かれた学校づくりの推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	学校支援ボランティアを育成しながら、その活用を図ります。また、地域に開かれた学校を目指して、学校の情報を発信します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	学校、家庭、地域が連携して子どもを育む
対象 (誰・何を対象として)	市内小中学校児童生徒、教職員及び地域、家庭
手段 (どのようなやり方で)	地域の人材や民間の力を活用した実践的教育のための学校支援ボランティアの活用 コミュニティ・スクールの導入・推進 規範意識向上のため「がうらっ子の心得」「子育ての提言」の周知・活用
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地域ぐるみで学校を支援する体制づくりにより、学校の教育力を向上させ、教育内容の充実を図ることができる。学校、家庭、地域が連携して子育てを行うことで、地域協働に対する意識の啓発及びボランティアの活用促進を図るとともに、児童生徒の規範意識の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	学校支援ボランティアの研修会・募集周知の実施	「子育ての提言」のチラシ・リーフレット、「がうらっ子の心得」のポスターの作成・配布 学校支援ボランティアの研修会・募集周知の実施	「子育ての提言」のチラシ・リーフレット、「がうらっ子の心得」のポスターの作成・配布 学校支援ボランティアの研修会・募集周知の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 「挨拶がよくできる」児童生徒の割合	%	87.3 (R6)	90.0	90.0	90.0	90.0 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 1中学校区当たりの学校支援ボランティア登録者数	人	141 (R6)	150	150	150	150 (R10)
	② 1中学校区当たりの学校安全パトロール登録者数	人	173 (R6)	200	200	200	200 (R10)
	③ 学校自己評価を公開した学校の割合	%	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	258	273	331	417	1,021
一般財源	258	273	331	417	1,021
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	中学校部活動地域展開推進事業	NO.	44
担当所属	学校教育課	関連所属	スポーツ振興課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 地域や家庭に開かれた学校づくりの推進	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を地域全体で連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を創出するため、地域クラブづくりを推進します。また、持続的な地域クラブ運営をするために地域人材の確保を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、充実させること
対象 (誰・何を対象として)	市内中学生
手段 (どのようなやり方で)	生徒の豊かで幅広い活動機会を保障するため、部活動にない活動も地域クラブとして認定していく。また、学校と連携し、部活動数の削減についての精査を行った上で地域クラブの設立を行う。持続的な地域クラブ運営をするために地域人材を幅広く募る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	生徒のニーズに応じた多種多様な体験や幅広い世代との豊かな交流が促進されること。 学校における教職員の働き方改革の一助となること。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	地域人材の確保 認定地域クラブの設置 学校との連携による部活動数の精査 市民への啓発	地域人材の確保 認定地域クラブの設置 学校との連携による部活動数の精査 市民への啓発	地域人材の確保 認定地域クラブの設置 学校との連携による部活動数の精査 市民への啓発

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 地域クラブ数	クラブ	3 (R6)	8	9	10	10 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 部活動地域移行協議会の開催回数	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,019	4,505	8,395	9,212	22,112
一般財源	2,019	2,039	4,262	4,634	10,935
特定財源	0	2,466	4,133	4,578	11,177

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	小中学校体育館空調設備設置事業	NO.	45
担当所属	教育総務課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 教育基盤の向上	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所として活用される学校体育館について、良好な教育環境の整備及び避難所機能の強化を図るため、空調設備を設置します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	良好な教育環境を整備するとともに、災害時における避難所の環境整備を図る。
対象 (誰・何を対象として)	児童生徒及び災害時における避難者
手段 (どのようなやり方で)	体育館への空調設備の設置と断熱性の確保
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	良好な教育環境の整備が図られる。また、災害時の避難所としての防災機能の強化が図られる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	体育館への空調設備整備（実施設計）	体育館への空調設備整備（実施設計・工事）	体育館への空調設備整備（実施設計・工事）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 体育館への空調設備設置完了学校数	校	0 (R6)	0	3	5	5 (R10)
	②						
	③						
活動指標	①						
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	0	15,433	191,374	136,137	342,944
一般財源	0	3,933	25,346	19,085	48,364
特定財源	0	11,500	166,028	117,052	294,580

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	学校環境整備事業	NO.	46
担当所属	教育総務課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	_1. 学校教育	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 教育基盤の向上	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内小中学校の照明器具のLED化を進め教育環境の整備を図ります。
------	----------------------------------

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	良好な教育環境を整備する。
対象 (誰・何を対象として)	児童生徒及び災害時における避難者
手段 (どのようなやり方で)	LED照明への改修。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	良好な教育環境の整備が図られる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	学校施設照明のLED化の推進	学校施設照明のLED化の推進	学校施設照明のLED化の推進

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	LED照明完了学校数	校	0 (R6)	2	4	6	6 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①							
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	94,325	84,000	84,000	262,325
一般財源	0	107	15,000	15,000	30,107
特定財源	0	94,218	69,000	69,000	232,218

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	読書普及事業	NO.	47
担当所属	中央図書館	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 生涯学習	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生涯学習の充実	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	読書に関する講座・イベントを開催し、市民の読書の質的向上を図るとともに、市民の多様化する課題解決を支援するための情報提供を行います。 また、図書館の事業に市民がボランティアとして積極的に参加できる場を設け、事業の充実を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	あらゆる世代に対して図書館の利用や読書に結びつくよう各種講座・講演会等を開催する。 図書館の事業に市民がボランティアとして積極的に参加できる場を設け、事業の充実を図る。 利用動向や利用者の意向、社会情勢等も踏まえ、課題解決や学習の支援など利用者に応じた図書館サービスの充実を図る。 様々な障がいにより図書館利用が困難な市民の読書要求に応える。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び図書館利用者
手段 (どのようなやり方で)	乳幼児から高齢者までを対象に様々な事業を実施するとともに、ボランティアの育成を計画的に実施する。 リスニングなどの学習支援や、課題解決のための資料や情報を要求に応じて提供するレファレンスサービスを実施する。 障がい者を対象とした宅配、読みに苦しさのある児童生徒を対象とした読書支援を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	ボランティアとの協働で事業を行うことにより、事業が充実する。 主体的に学習する市民が増え、地域の学習力が向上する。 身体等の障がいにより来館が困難な市民、活字での読書が困難な児童生徒の読書要求に応えることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	講座・イベント等の推進 図書館ボランティアの育成 市民の学習、地域課題の解決を支援する資料・情報の提供 障がい者への宅配の実施 読みに苦しさのある児童生徒への読書支援	講座・イベント等の推進 図書館ボランティアの育成 市民の学習、地域課題の解決を支援する資料・情報の提供 障がい者への宅配の実施 読みに苦しさのある児童生徒への読書支援	講座・イベント等の推進 図書館ボランティアの育成 市民の学習、地域課題の解決を支援する資料・情報の提供 障がい者への宅配の実施 読みに苦しさのある児童生徒への読書支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 読書普及事業総参加者数	人	17,292 (R6)	17,400	17,400	17,400	17,400 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① レファレンス処理件数	件	1,217 (R6)	1,200	1,200	1,200	1,200 (R10)
	② 主催講座数	件	3 (R6)	4	4	4	4 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	990	900	903	900	2,703
一般財源	990	900	903	900	2,703
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	電子図書館サービス事業	NO.	48
担当所属	中央図書館	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 生涯学習	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 生涯学習の充実	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	図書館に来館しなくても利用可能で、インターネットを通じて24時間資料の貸出が可能な電子図書館サービスを行います。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	来館しなくても利用できる電子図書館サービスを提供することで、多様化するライフスタイルに合わせた読書が可能となる。
対象 (誰・何を対象として)	図書館利用者（市民及び市内在勤・在学者）
手段 (どのようなやり方で)	インターネット上設置した電子図書館のプラットフォームで、著作権処理された電子書籍の貸出を行う。図書館システムと連携し、図書館ホームページの検索画面から紙書籍と電子書籍を一緒に検索可能とする。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	学業や仕事等で来館が困難な市民への図書館サービスが充実する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	電子書籍の選定・購入 電子図書館の周知 電子図書館利用方法の案内	電子書籍の選定・購入 電子図書館の周知 電子図書館利用方法の案内	電子書籍の選定・購入 電子図書館の周知 電子図書館利用方法の案内

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	電子図書館の貸出冊数	冊	3,016 (R6)	3,180	3,344	3,508	3,508 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	電子図書館サービス利用促進周知	回	17 (R6)	17	17	17	17 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	1,894	2,092	2,092	2,092	6,276
一般財源	1,894	2,092	2,092	2,092	6,276
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	生涯学習ボランティア促進事業	NO.	49
担当所属	生涯学習課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 生涯学習	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 社会教育の充実	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地域の人材活用を図るため、社会教育推進員などの各種ボランティアの養成と資質向上を目的とする研修等を実施します。 これらの各種ボランティアと連携・協働し、市民の学習活動の支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域の人材をボランティアとして養成し、社会教育機関等の主催事業での活用を図ることで、行政と市民の連携・協働による事業展開を目指すとともに、ボランティア参加者自身の自己成長や社会貢献を実感させ、地域課題の解決に向けた実践への行動化に繋げる。
対象 (誰・何を対象として)	市民
手段 (どのようなやり方で)	ボランティア養成講座・研修会を実施し、ボランティアの資質向上及びモチベーションの向上を図る。 様々な情報メディアを活用しながら、幅広い世代・地域に対して各種ボランティア団体の活動周知を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各種ボランティアとの連携・協働のもと事業を実施することで、高度化・多様化する市民の学習ニーズに対応した、質の高い社会教育活動を展開できる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	社会教育推進員養成講座・全体研修会の実施 保育ボランティア養成講座・視察研修の実施 ユースボランティア全体研修会・交流会の実施	社会教育推進員養成講座・全体研修会の実施 保育ボランティア養成講座・視察研修の実施 ユースボランティア全体研修会・交流会の実施	社会教育推進員養成講座・全体研修会の実施 保育ボランティア養成講座・視察研修の実施 ユースボランティア全体研修会・交流会の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 生涯学習ボランティアの人数	人	127 (R6)	130	132	135	135 (R10)
	② ボランティア養成講座の開催回数	回	5 (R6)	6	6	6	6 (R10)
	③						
活動指標	① 保育ボランティア活動回数	回	17 (R6)	20	22	25	25 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	2,079	2,029	2,029	2,029	6,087
一般財源	2,079	2,029	2,029	2,029	6,087
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	放課後こども教室推進事業	NO.	50
担当所属	生涯学習課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 生涯学習	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 青少年の健全育成活動の拡充	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	放課後の学校施設を活用し、こどもの安全・安心な活動場所を提供します。 異学年活動、地域住民との世代間交流などを実施し、地域の教育力の向上や心豊かで健やかな児童の育成を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	放課後の学校施設を活用し、こどもの安全・安心な活動場所を提供する。 異学年活動、地域住民との世代間交流などを実施し、心豊かで健やかな児童を育成する。
対象 (誰・何を対象として)	市内小学生
手段 (どのようなやり方で)	地域の協力者を確保し、学校区ごとに事業内容の計画・運営を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	子どもたちが放課後に安全・安心に遊べる活動場所を確保する。 地域全体で子どもを育む環境を醸成し、地域の教育力の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	放課後こども教室の実施（昭和・長浦・根形小学校） 放課後こども教室の試行実施・検証（奈良輪小学校）	放課後こども教室の実施（昭和・長浦・根形小学校） 放課後こども教室の試行実施・検証（奈良輪小学校）	放課後こども教室の実施（昭和・長浦・根形小学校） 放課後こども教室の試行実施・検証（奈良輪小学校）

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	参加者数	人	2,154 (R6)	2,800	2,900	3,000	3,000 (R10)
	②							
	③							
活動指標	①	実施回数	回	23 (R6)	30	31	32	32 (R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,413	2,227	2,123	2,123	6,473
一般財源	2,413	2,227	2,123	2,123	6,473
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	芸術活動普及事業	NO.	51
担当所属	生涯学習課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 文化芸術・文化財	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 文化芸術活動の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	文化芸術活動の活性化と振興を図るため、袖ヶ浦美術展や芸術活動団体の支援及び、芸術活動へ触れる場を提供します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	文化芸術活動の活性化と振興を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び文化芸術活動団体
手段 (どのようなやり方で)	袖ヶ浦美術展の開催に対し補助金交付や周知などの支援を行う。 芸術活動団体の公演・展覧会等を後援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	芸術活動の促進を図ることで、芸術活動団体の活動機会及び市民が芸術活動に触れる機会を確保する。 また、若年層に芸術活動についての関心を生み出す。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	協働による袖ヶ浦美術展の開催 文化芸術活動団体の事業開催支援 体験教室の開催 オンライン展覧会等の開催・内容検討	協働による袖ヶ浦美術展の開催 文化芸術活動団体の事業開催支援 体験教室の開催 オンライン展覧会等の開催・内容検討	協働による袖ヶ浦美術展の開催 文化芸術活動団体の事業開催支援 体験教室の開催 オンライン展覧会等の開催・内容検討

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	袖ヶ浦美術展入場者数	人	1,335(R6 7日間換算)	1,500	1,550	1,600	1,600(R10)
	②	文化芸術活動体験教室参加者数	人	18(R5, R6平均)	18	18	18	18(R10)
	③	オンラインの展覧会等閲覧数	人	249(R6)	260	270	280	280(R10)
活動指標	①	文化芸術活動団体事業後援件数	件	44(R5, R6平均)	44	44	44	44(R10)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	352	283	372	283	938
一般財源	352	283	372	283	938
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	山野貝塚保存活用事業	NO.	52
担当所属	生涯学習課	関連所属	郷土博物館

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3.文化芸術・文化財	会計区分	一般会計
	方向性	(2)郷土の歴史と文化財の保存・活用	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	国民共有の財産であり、本市の重要な文化財でもある国史跡山野貝塚を確実に保存し、適切に活用するために整備を行い、後世に継承します。また、市民ボランティア等との協働による管理運営体制の構築を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	山野貝塚を整備し確実な保存と適切な活用を図ることにより、市民に山野貝塚の価値が理解され、次世代へ山野貝塚を継承する。
対象 (誰・何を対象として)	市民 山野貝塚 山野貝塚周辺の文化財
手段 (どのようなやり方で)	保存活用計画に基づき、指定地の公有地化及び未指定地の指定を推進する。 整備基本計画に基づき、山野貝塚の確実な保存と適切な活用を図るための整備を行う。 ボランティア組織の活動を充実し、市民協働による管理運営体制を確立する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	山野貝塚の保存と活用 市民の文化財保護意識の涵養

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	地権者交渉・追加指定・公有地化 整備実施設計 整備工事 活用事業の実施 ボランティアとの協働 史跡の維持管理	地権者交渉・追加指定・公有地化 整備工事 活用事業の実施(指定10周年記念行事) ボランティアとの協働 史跡の維持管理	地権者交渉・追加指定・公有地化 整備工事 活用事業の実施 ボランティアとの協働 史跡の維持管理

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	現地見学会参加者数	人/回	18 (R4~6平均)	25	25	25	25 (R10)
	②	ボランティア登録数	人	22 (R6)	26	27	28	28 (R10)
	③							
活動指標	①	現地見学会開催数	回	2 (R4~6平均)	2	2	2	2 (R10)
	②	ボランティア活動数	回	15 (R4~6平均)	15	15	15	15 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	21,482	57,585	56,761	83,052	197,398
一般財源	12,148	10,877	8,416	9,512	28,805
特定財源	9,334	46,708	48,345	73,540	168,593

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	総合的な文化財の保存・活用事業	NO.	53
担当所属	生涯学習課	関連所属	郷土博物館

【事務事業基本情報】

総合計画	章	2. 教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	3. 文化芸術・文化財	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 郷土の歴史と文化財の保存・活用	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内に伝わる文化財の調査・研究を進め、適切な記録と保存を行います。また、調査成果の公開事業を行い、文化財の普及に努めます。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	文化財を適切に保護し、次世代へ継承する。 市民が袖ヶ浦の歴史、自然、文化を理解する。
対象 (誰・何を対象として)	市民、文化財所有者、市内に所在する文化財
手段 (どのようなやり方で)	市内の文化財の調査を進め、必要に応じて記録、貴重なものは指定文化財に指定し、保護する。 市内文化財を適切に管理するため、管理者に補助金を交付する。 文化財、及び調査成果の公開活用を進める。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	文化財を記録、保存・活用し、後世へ伝承する。 市民の郷土に対する理解と歴史・文化の関心度の向上

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	指定文化財候補の調査 指定文化財管理者への補助金交付 民俗芸能継承団体への支援 文化財の公開活用事業の実施 無形民俗文化財の記録保存 文化財のデジタル化・公開	指定文化財候補の調査 指定文化財管理者への補助金交付 民俗芸能継承団体への支援 文化財の公開活用事業の実施 無形民俗文化財の記録保存 文化財のデジタル化・公開	指定文化財候補の調査 指定文化財管理者への補助金交付 民俗芸能継承団体への支援 文化財の公開活用事業の実施 無形民俗文化財の記録保存 文化財のデジタル化・公開

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 指定文化財件数	件	43 (R6)	46	46	47	47 (R10)
	② 公開活用事業参加者数	人	150 (R6)	150	150	150	150 (R10)
	③						
活動指標	① 文化財調査件数	件	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	② 文化財公開活用事業	件	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,185	1,629	1,629	1,647	4,905
一般財源	1,588	1,254	1,254	1,272	3,780
特定財源	597	375	375	375	1,125

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域資料管理活用事業	NO.	54
担当所属	郷土博物館	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__3.文化芸術・文化財	会計区分	一般会計
	方向性	(2)郷土の歴史と文化財の保存・活用	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	地域に残された資料（埋蔵文化財、歴史・民俗・産業・自然資料等）を収集・保存するとともに、データベース等の情報を活用して次世代へ継承します。また、文化財のデジタル化を進め、地域資料のデータや調査・研究成果について、ICT等を活用した情報発信をすることにより、地域資料の重要性や価値を明らかにし、市民に公開します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域に残された資料（埋蔵文化財、歴史・民俗・産業・自然資料等）を収集・保存し、データベース化やデジタルデータの作成を行うことで、市民が活用しやすい素材として提供するとともに、次世代への継承を行う。また、地域資料の調査・研究を行い、その重要性や価値を明らかにし、成果を公開する。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び博物館利用者
手段 (どのようなやり方で)	収蔵資料保存修復・収蔵資料のデジタル化を進めてデジタルアーカイブを作成し、ホームページ等ICTを活用した情報提供を行う。 『市史研究』の刊行。収蔵資料及び地域資料の調査
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	収蔵資料の保存修復やデジタル化を進め、適切な管理を行うことで、次世代へ袖ヶ浦の遺産である地域資料を継承するとともに、その重要性について周知し、文化財についての理解者を拡大する。また、地域資料のデータベース化等の整備により資料を展示や教育普及・調査研究、教育の場で活用しやすいものとする。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	収蔵資料の保存修復・活用 埋蔵文化財の写真資料デジタルデータ化 『市史研究』の刊行 収蔵資料の調査研究	収蔵資料の保存修復・活用 埋蔵文化財の写真資料デジタルデータ化 『市史研究』の募集 収蔵資料の調査研究	収蔵資料の保存修復・活用 埋蔵文化財の写真資料デジタルデータ化 『市史研究』の刊行 収蔵資料の調査研究

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 収蔵資料を活用した事業	件/年	7 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	② 情報媒体による資料公開	回/年	4 (R6)	7	7	7	7 (R10)
	③						
活動指標	① 収蔵資料の調査・研究	件/年	7 (R6)	8	8	8	8 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8～R10年度 合計
事業費	4,096	4,293	3,453	4,268	12,014
一般財源	4,040	4,237	3,397	4,212	11,846
特定財源	56	56	56	56	168

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	「上総掘りの技術」井戸掘削事業	NO.	55
担当所属	郷土博物館	関連所属	生涯学習課

【事務事業基本情報】

総合計画	章	__2.教育・文化	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	__3.文化芸術・文化財	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 郷土の歴史と文化財の保存・活用	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市内で伝承されている伝統的な井戸掘り工法、国の重要無形民俗文化財に指定されている「上総掘りの技術」を活用し、井戸の掘削を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	平成18年に国の重要無形民俗文化財に指定された、「上総掘りの技術」を活用し、井戸掘削技術の継承を目的とした井戸掘削を実施する。
対象 (誰・何を対象として)	市民・上総掘り技術伝承研究会
手段 (どのようなやり方で)	井戸掘削のため、ボランティアを募集し、「上総掘りの技術」を継承する上総掘り技術伝承研究会の指導により、井戸の掘削を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	上総掘りの技術を継承する人材を育成するとともに掘削した井戸は防災等への利活用を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	掘削場所の選定・調整 ボランティアの募集	掘削準備・掘削作業 技術講習会の実施 ボランティアの募集	掘削作業

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 井戸掘削数	箇所	0 (R6)	0	0	1	1 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 井戸掘りボランティア登録数	人/年	0 (R6)	5	10	20	20 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	0	2,116	2,061	1,123	5,300
一般財源	0	2,116	2,061	1,123	5,300
特定財源	0	0	0	0	0